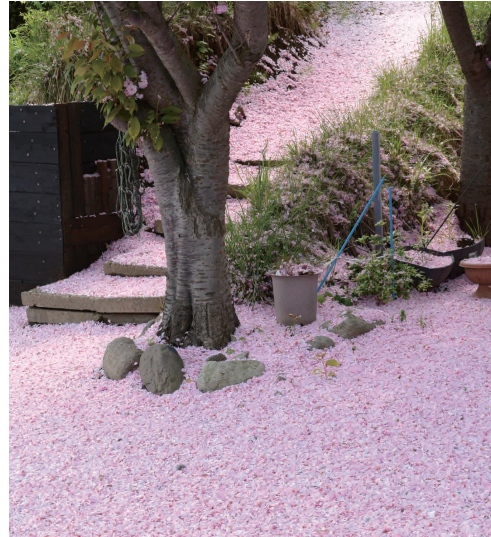


# 更生保護 あおもり

**【第80号】**

発行日 平成27年9月30日  
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会  
 青森県保護司会連合会  
 青森市長島1-3-25  
 電話017(776)6419



**【奥津軽いまべつ桜坂】**  
 今別町に新幹線がやって来る。新しい「奥津軽いまべつ駅」を見学、国道280号を走り津軽半島巡り。この家の桜は、毎年幾多の人をなごませているそうです。場所は、みなさんで探して下さい。〈撮影日：5月14日〉写真提供 青森地区

## 「自律」と「自己責任」



更生保護法人  
 青森県更生保護協会  
 副理事長 千葉 満  
 学校法人千葉学園 理事長  
 千葉学園高等学校 校長

ご存じのように、公職選挙法の改正により選挙権年齢が18歳以上に引下げられ、来年夏の参議院議員の通常選挙から高校生でも一票を投ずることができるようになりました。諸外国の例もあり、予想されていたことなのでなんの障害もなく改正されたわけですが、高校生の時から市町村・県・国のあり方について理解を深め、判断する力を養うことはとても大切なことと思います。でも、にわかに「主権者教育」などということがいわれ、高校生を預かっている私などはちょっと戸惑いを覚えるのです。これまでの主権者は「主権者教育」などを受けたことがありません。18歳以上と18歳以下が混在する学校の中で、どのようにやっていけばいいのか落ち着かない昨今です。

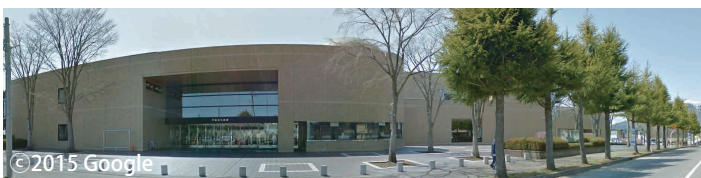
これに関連して気になることは、「少年法の改正」ということであります。18歳の主権者が選挙違

反に問われることも予想されます。選挙権年齢の引下げの延長で改正が言われるようになったもので、この際少年法の適用は18歳未満にしようという気運になるのも当然なのかもしれません。加害者としての少年の保護も大切ですが、凶悪な少年犯罪事件の度に、被害者の家族の気持ち「少年といえども犯罪に応分の刑罰を」という主張もいちがいに否定することはできません。各種の世論調査でこういう意見が多いということも聞きました。しかし、加害者である少年から更生の機会を奪ってしまっていないのかということもよく考えてみなくてはなりません。18歳・19歳という時期に立ち直りの機会をなくしてはならないという主張はもつともであります。

現実には高校生と毎日一緒に過ごしている私にとっては、なかなか厄介な問題であります。確かに、高校生を見ていますとまだまだ幼稚な面があることも否定できません。いろんな場面で甘やかされており、もっと厳しくしなくてはと思うことも多々あるのも事実です。私どもの学校には2年間の専攻科の課程があり、15歳から20歳までの生徒・学生がおります。この人たちに対して私は強いと思います。この時期に大事なことは「自律」と「自己責任」。このことを胸に、しっかりした大人に成長してほしいと願うのであります。

## 更生保護関係7団体が、より結束を強め、更生保護大会毎年開催に一丸となって取り組みます。

**第37回青森県更生保護大会〈むつ下北〉**  
 期日/平成27年11月13日(金) 会場/むつ市・下北文化会館



9月15日、県協会主催による更生保護関係団体の交流会が保護観察所で開催され、県保連、協会、あすなろ、県更女、県B連、県雇用主会連盟、県就労支援機構の各団体が活動状況について情報交換を行うとともに、県大会の準備委員会を併せて開催して、開催要綱等を確認し大会に向けて各団体一丸となって取り組むこととしました。

また、来年度から大会を毎年開催とする方針としました。



# 第65回 “社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で65回目となりました。

犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。青森県内の各地区でも街頭広報、ポスターの掲示、のぼり旗設置など、地域性を生かした活動に協力いただきました。



青森県保護司会連合会・社明運動  
青森ねぶたに参加

8月4日、昨年に続き青森市PTA連合会の協力で、青森保護観察所辻所長、青森県保護司会連合会天内会長他、保護観察所職員、青森地区保護司会のみなさん総勢30名で青森ねぶた祭りに参加「おかえり」の横断幕を掲示、沿道の人に黄色い羽根のうちわを配布するなど社明広報活動を活発に展開しました。



## 八戸地区

### 犯罪防止講演会、夏祭りでの啓発広報活動、JUMPチームが防犯・非行防止を呼びかけ、

### 中学生との意見交換会、一龍齊貞花氏の「講演と講談の会」を開催

五戸分会では、7月6日新郷村役場に引き続き五戸町役場でのメッセージ伝達式が行われ、アビル五戸を会場に、五戸警察署の木村一千司氏を講師として犯罪防止講演会が開かれました。7月15日新郷中学校では、森林康氏(元八戸市教育長)が「夢・目標の実現への努力 そのとき君は輝く」と題して講演されました。7月19日の豊間内虫送り、8月1日の夏祭り花火大会では、啓発広報活動が行われました。

八戸分会では、7月1日を恒例とし、八戸市庁前広場でメッセージの伝達が行われた後、街頭で市長とJUMP

チーム代表が防犯・非行防止の呼びかけを行いました。

階上地区では7月7日、階上中学校で町長の講演後、階上中と道仏中の生徒と保護司との意見交換会が行われました。

三戸分会では7月8日、南部町、三戸町、田子町でメッセージが伝達された後、それぞれの町を巡回しての啓発広報活動が行われました。同日午後からは、県立田子高校で一龍齊貞花氏を招いての「講演と講談の会」が開催されました。



五戸町での社明伝達式



新郷中学校での社明講演会

### 南黒地区

## 5年継続の公用車による広報活動や JUMPチーム、更女会の協力で実施

地区全体で取り組んでいる特徴的な活動としては、構成市町村の公用車を活用した社明街頭広報活動です。公用車にマグネット式の啓発標語を貼り付け、録音テープによる社明広報活動をこれまで5年間継続して実施しているところです。

内閣総理大臣メッセージ伝達は、地区内構成首長の絶大な支援と信頼を受け、地道にしっかりと活動を実施できていることは、大変有難いことだと受け止めています。

黒石支部では、市内中学校のJUMPチームや生徒会の協力をを受け、期間中に登校する生徒に社明ティッシュを配布しています。そのほか、関係の町村で実施している防犯パレードなどにも積極的に参加し、社明活動への協力と理解を深めるためにしっかりと活動しています。また、地区更生保護女性会黒石支部では、夜店祭りで啓発活動のためのティッシュ配布を実施しています。



社明ステッカーを貼った公用車



黒石地区の中学校生徒会・JUMPチームとの連携

### 河南地区

## 各駅前での広報活動、小・中・高校を訪問、薬物乱用防止、青少年問題相談会を実施、大鰐ではパレードで社明を町民に呼びかけ

平川地区の活動は、7月8日から3日間生徒の登校時間に合わせて尾上、平賀、館田、碓ヶ関の各駅前と柏木農業高等学校生徒玄関前で実施。学校訪問は9日9時から平川市役所前で出発式後小・中学校13校と高校2校を訪問。

碓ヶ関支部は、7月17日地域住民29名を対象に薬物乱用防止講習会を開き、尾上支部は、7月23日に、青少年問題相談会を実施しました。

大鰐地区は、駅前キャンペーン活動を7月1日朝に大鰐駅前等3ヶ所で実施。また、7月13日は大鰐中学校全校生徒や各種団体等約330名参加し町民総決起大会を開催。その後、町内街頭パレードで「犯罪のない明るい社会」にするよう町民に呼びかけました。



柏木農業高等学校で実施



大鰐地区の町内街頭パレードに参加した大鰐中学校の生徒と関係団体

### 全国に発信!

よろしくね!



### 保護局ツイッター情報

ネットで検索して見て下さい。

保護局

検索

保護局から許可をいただいて掲載しています。

更生ペンギン「ホゴちゃん」



法務省保護局 @MOJ\_HOGO - 7月31日

【社明行事@青森保護観察所】御当地アイドル「りんご娘」の“とき”さんと“玉林”さんも、青森刑務所の矯正展特設ステージでのパフォーマンス後に「ホゴちゃんの部屋」に足を運んでくれました。



法務省保護局 @MOJ\_HOGO - 7月31日

【社明行事@青森保護観察所】青森刑務所で“社会を明るくする運動”矯正展が開催されました。当日は晴天に恵まれ、検事正らによるテープカットで開幕。更生保護を紹介する保護観察所の「ホゴちゃんの部屋」にもたくさんの人に来ていただきました。



法務省保護局 @MOJ\_HOGO - 8月21日

【#社明行事@青森保護観察所】今年も青森の熱い夏がやってきました! 保護司も跳ねました! 「おかえり」の横断幕とのぼりが青森ねぶた祭りを彩りました!



### むつ下北地区

## 田名部中学校・東通中学校との連携、 下北一周「愛のキャラバン」での社明広報活動

- ①7月2日(木)8時集合。雨を心配しましたが、むつ来さまい館ホールAでの田名部中学校吹奏楽部41名による「妖怪ウォッチ」等の演奏、その後ホールBでの内閣総理大臣・県知事メッセージの伝達式・出発式、そしてパレードが実施できました。10時すぎの市街地なのに人通りの少なさに悲しくなりました。→川内庁舎→脇野沢庁舎→東通村
- ②東通中学校〔耐震工事のため小学校体育館で〕の伝達式、生徒会長が「いじめ」防止の取組発表、吹奏楽ミニコンサート。広報テープ・テーマ幕を「法務大臣→内閣総理大臣」とするために新調しました。  
1日目参加者数:697名
- ③7月3日(金)は9時集合。  
むつ市役所→大畑→風間浦→大間→佐井アルサスと2日間で第36回下北一周愛のキャラバン。2日目:293名
- ④7月18日(土)熊野神社祭典宵宮で社明うちわ・リーフレット等配付し啓発活動を行った。参加者数:106名  
総計:1,096名



田名部中学校吹奏楽部が参加してのパレード



### 弘前地区

## 街頭でマイクを握って呼びかけ 弘前大学 teens & lawの活動発表も熱く!!

7月11日(土)10時30分より、市民文化交流館(ヒロロ4階)に、都合200名が集いメッセージ伝達式及び決起大会が開催されました。

総理大臣並びに県知事からのメッセージ伝達の後、弘前大学teens & lawの活動発表が熱く紹介され、参加者を引き付けました。又アトラクションでは「おくで企画」の奥出博さんが登場「お笑いマジックショー」で会場を和やかに。



市民文化交流館(ヒロロ4階)でのメッセージ伝達式及び決起大会



ヨーカドー前での街頭社明活動



ヒロロ4階でのメッセージ伝達式

ヒロロ入口3ヶ所での会場へのパンフ誘導や広報活動は、範囲を広げてヨーカドー前にも出向きハンドマイクに依る通行人への呼びかけ、リーフレットの配布など、初めての試みもなされました。



活動発表  
弘前大学 teens&law

7月11日弘前市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)にて行われた、第65回“社会を明るくする運動”弘前地区決起大会の中で、決意表明と支援活動ボランティアを発表しました。

## 青森県BBS連盟

### 弘前大学「teens & law」の紹介

弘前大学公認サークルで、2005年3月、青森家庭少年問題研究会として発足、子どもと家庭をめぐる現代の様々な問題を論議するとともに、具体的には非行少年、とりわけ家裁で試験観察とされた少年について、大学生による支援ボランティアを組織すること等を目的として設立されました。2007年度より、「teens & law」という名称を付け、より自立した学生サークルとして再出発しました。

青森県BBS連盟に加盟し、また青森家庭少年問題研究会との連携も密に行い、活動の幅を広げています。

#### 【メンバー】

現在、教育学や法学などを専門に学んでいる教育学部生、人文学部生を中心に30名程度のメンバーが所属しています。法務教官やロースクール進学など、教育・司法の道に進んだサークルの先輩も多数います。

#### 【活動内容】

非行を犯した少年への学習ボランティア活動、施設を訪問しての子どもたちとの交流、少年(保護観察中)とのともたち活動(青森県BBS連盟としての活動)、裁判傍聴や模擬裁判など法律分野の取り組み、ミニ学習会を中心に活動しています。さらに、顧問の先生方が運営している青森家庭少年問題研究会の学習会や施設見学にも参加し、研究者や実務家の方とも交流しています!

## つがる地区

# 「つがる市市民集会の開催」

### 中学生社明作文発表、県警音楽隊の演奏など主催つがる市・保護司会・更女会で開催

第65回社会を明るくする運動・市民集会在、平成27年7月7日つがる市生涯学習交流センター松の館で、主催つがる市・つがる地区保護司会・つがる地区更生保護女性会のもと、たくさんの共催と後援のもとに、たくさんの小学生・中学生・高校生・関係市民の参加のもとに実施されました。



社明作文の入賞作品の朗読発表する車力中学校1年金澤太陽君

進行内容の概略として、まず、つがる市長の主催者挨拶に始まり、つがる地区保護司会七戸賢逸会長から総理大臣メッセージ、つがる警察署長から県知事メッセージが市長に伝達されました。



「つがる市市民集会」での県警音楽隊の演奏

続いて、車力中学校1年金澤太陽君から社明作文の入賞作品の「あいさつのおかげで」が朗読発表され大きな拍手を受けました。続いて、青森県警察音楽隊の「男はつらいよ」の演奏やカラーガード隊の旗の演技など会場が大いに盛り上がり市民集会在が成功のうちに進められました。

## 野辺地地区

# 七戸町、東北町、横浜町、六ヶ所村、野辺地町の支部毎に社明PR活動

当地区は、5町村の支部毎にそれぞれのPR活動を実施しております。

七戸町支部では、町長へのメッセージ伝達や町内の街頭運動でのPR活動の実施。

東北町支部では、「かみきた夏まつり」での町長へのメッセージ伝達やのぼり旗設置等の実施。

横浜町支部では、町長へのメッセージ伝達や役場防災無線での社明運動の呼びかけの実施。

六ヶ所村支部では、村長へのメッセージ伝達や役場に垂れ幕設置等の実施。

野辺地町支部では、町長へのメッセージ伝達や朝のおはよう声掛け運動の実施と、今年初めて通勤・通学者及び町内の児童・生徒に対する「黄色い羽根」とパンフレットを配布し、黄色い羽根のPR活動を実施しました。



野辺地支部の町長へメッセージ伝達



野辺地町支部の黄色い羽根とパンフレット配布



東北町支部「かみきた夏まつり」で、町長へメッセージ伝達

県内  
6番目

# 野辺地地区更生保護サポートセンター 開所

本年度全国に新設の101箇所のサポセンの1つとして指定を受けた、野辺地地区保護司会のサポートセンターが、9月1日オープンし、同月11日(金)開所式が行われました。

野辺地町当局の御理解御協力により、場所の提供から開設に向けての準備が極めてスムーズに進み、4町1村の広範な保護司会の拠点としてスタート。地域の安心安全と保護司同士及び関係機関との活発な交流に寄与するため、辞令交付を受けた18人の企画調整保護司が交替で勤務します。

開所式では、野辺地町長始め保護区内の町村の自治体、関係団体や更女会、保護司会連合会長、保護観察所長ら多くの来賓とともに、野辺地地区の保護司全員で開所を喜びました。お近くにお遊びの際はぜひお立ち寄りください。



- ◆開所日 月～金(祝日年末年始除く) 9時～15時
- ◆電話 0175-64-5234 (FAX兼)
- ◆所在地 野辺地町字中道 20-1 野辺地町青少年体育センター

### 鱈ヶ沢地区

## 更女会との連携、小・中学校と鱈ヶ沢高校まで活動の場を広げた学校との連携

今年度は、社明運動に初めての試みを二つ取り入れました。まず、更生保護女性会との連携です。JR鱈ヶ沢駅前、鱈ヶ沢町立鱈ヶ沢中学校に加えて、今年度は、県立鱈ヶ沢高等学校まで活動の場を広げ、ティッシュ配り・あいさつ運動・声かけ運動をしました。どの生徒も笑顔であいさつを返してくれ、気持ちのよい朝の一時でした。

次に、学校との連携です。深浦町立いわさき小学校・岩崎中学校で時間を確保していただき、ミニ集会も実施できました。その中で保護司からの講話を取り入れ、保護司の役割や現状を説明しました。児童・生徒は熱心に話を聞き、犯罪・非行防止のために、自分たちは何ができるのか考えることができたようでした。また、“社明運動作文コンテスト”にも応募していただけることになり、学校に足を運んだ甲斐があったと思います。

新しいことに挑戦したことにより、保護司間の協力体制も更に深まった気がします。



小学校との連携



鱈ヶ沢高校で更女会とのティッシュ配り・あいさつ・声かけ運動

### 青森地区

## 中学校との連携、街頭広報活動、青森ねぶた祭りに参加した社明運動

第50回社明運動(平成12年)から実施されてきました中学校との連携は、今年度7月7日新城中学校で開催、伊藤校長に地区社明推進委員長の鹿内市長からメッセージを伝達、生徒の合唱、JUMPチーム5年間の軌跡、地区の加川保護司が「それでも罪を犯してしまった人たちの更生について」の講話がありました。



新城中学校で講演する青森地区加川保護司

社明街頭広報活動は、7月5日青森駅前のアウガ前と中三デパート前で行われ、鹿内市長はじめ、地域活動部会の保護司の方々が、社明うちわ、リーフレットなどを通行人に配布しました。また8月4日には、青森ねぶた祭りに「おかえり」の横断幕を掲示、社明うちわ、ティッシュ、リーフレットを沿道の観光客に配布しました。



駅前のアウガ前で街頭広報活動の鹿内地区推進委員長

# 青森県更生保護女性連盟 「秋の集い」

期日/10月8日 会場/七戸中央公民館

七戸地区更生保護女性会 会長 半崎 久美子

「秋の集い」が七戸町で開催されますことは、町民にとって名誉なことと思います。戦後70年。町合併10周年。当地区更女会50周年(28年2月)記念の中で迎えられます。混乱の中、ホットケナイ、今やらなければと立ち上げられた、苦難の軌跡を思い、諸先輩方に感謝と敬意を表します。

平成25年、第50回記念“日本更生保護女性の集い”に出席の機会をいただきました。宣言“支えあい、共に輝き、その先へ”をつなぐべく取り組み、継承してまいりたいと思います。

さらなる光へ、今回機会を与えられた集いでは、おもてなしの心を持ち、皆様を迎えられますよう、衿をただしお待ち致しております。



【史跡七戸城跡】根城南部第八代城主の南部正光の築城

上十三地区

# 保護司会、更女会、JUMPチーム、関係団体等と共に各会場にて社明運動を展開

上十三地区保護司会では、7月1日三沢署管内・十和田署管内の2市2町の市長、町長へ内閣総理大臣、青森県知事メッセージを伝達しました。

当地区では、保護司会、更生保護女性会、JUMPチーム、関係団体等と共に各種イベント会場にて“社会を明るくする運動”を行っております。各市町村に於いては、ミニ集会を開催、青少年の健全育成、犯罪のない明るい社会を目指し、広く市民の皆さんに理解してもらうために実施しております。

十和田支部、三沢支部、おいらせ支部、六戸支部と各支部年間を通して15回程、啓発運動をしているところです。その際チラシ、ティッシュ、団扇カットバン等を手渡し、広く市民に呼びかけております。保護司会、更生保護女性会、JUMPチーム、関係団体の皆さんと共に連携しながら今後も同じ目的を持って、明るい社会を目指して行きます。



三沢七夕まつりでの社明運動



奥入瀬口マンパークでの社明運動



三沢七夕まつりでの社明運動

五所川原地区

# 「ヤッテマレ軽トラ市」にて更女会、BBS会、市内の各ボランティア団体の協力を得て

当地区の五所川原分会では“社明運動”の啓発活動として、7月26日に五所川原市立佞武多通りにて開催された

「ヤッテマレ軽トラ市」を中心イベントとした歩行者天国にてリーフレットとキャンペーングッズ(うちわ)の配布を行いました。このイベントは、西北地域の農林水産物等の地産地消推進及び五所川原市立佞武多通りの活性化を目的に6月から10月まで月一回行われており、朝八時半の開始前から数多くの市民でにぎわっています。当日は更生保護女性会やBBS会、そのほか市内の各ボランティア団体のご協力を得て、500組用意した配布グッズがあつという間に無くなりました。特に「うちわ」は好評だったようで、腰のベルトに差して買い物をしていた男性が印象的でした。この後、会場を移し、昨年度の作文コンテストで受賞した五所川原第三中学校3年・伊藤真利亜さんの作文「悪から善へ」の朗読も行いました。



「ヤッテマレ軽トラ市」での社明運動



法服を着て裁判官席を体験

刑務所、鑑別所への慰問は毎年続けて行っております。加えて、今年は犯罪予防、非行防止啓発活動の一環として、関連のある機関等見学研修を実施させて頂きました。7月23日青森の検察庁に行き、業務の説明を聞

更女会  
だより

## 更生保護の関係機関を学ぶ

五所川原地区更生保護女性会 会長 村元 範子

き、事件についての証拠物品庫や調べ室も見せて頂くことが出来ました。次は裁判所に行き法廷内を見学。裁判傍聴については4～5年前に行ったので今回は省きました。最後は更生保護施設プラザあすなろにも足を運び、現在の更生保護会館が出来るまでの住民らに長年反対運動をされ、20年間の歳月を経てやっと今日があることの説明を受け、一同気持ちを新たに帰路に着きました。

ハードなスケジュールにもかかわらず、みんなの様子は普段見られないところ、更女だから入れる等、そんなところばかり見てこられて本当に勉強になりました。今回来てよかった、よかったの連発でみんなのお顔も疲れの知らない満面の笑みでした。これからの活動も独創的に継続していきましようと思ひんで誓って参りました。

# 国会議員が更生保護施設プラザあすなろ視察

自民党議員有志による全国の矯正施設・更生保護施設視察の一環として、8月31日、当県選出の津島淳議員、山崎力議員、木村太郎議員がプラザあすなろを視察されました。施設運営の実情等について春藤施設長の説明を受け、今後の国会議論に生かしていくとのことでした。



施設内の見学の様子

説明を受ける  
(左から)山崎、津島、木村議員



次の方々から浄財が寄せられました。  
厚く御礼申し上げます。(敬称略)

## (更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

- 〈平成27年2月1日～平成27年7月31日〉
- 〈10万円〉宮崎 春子
- 〈5万円〉株式会社 半田硝子建材  
佐藤 玲恵子
- 〈4万円〉黒瀧 信行
- 〈3万円〉八木橋 満則 ・ 佐藤 玲恵子  
源 新和彦  
青森地区更生保護女性会「みんなのつどい」

## (更)あすなろ 寄附者御芳名

- 〈平成27年2月1日～平成27年7月31日〉
- 〈6万円〉黒瀧 信行
- 〈5万円〉むつ地区更生保護女性会  
佐々木 重昭 ・ 三浦 順子
- 〈3万円〉青森地区更生保護女性会「みんなのつどい」
- 〈2万円〉関 一宇  
五所川原地区更生保護女性会  
八戸地区更生保護女性会
- 〈1万5千円〉八戸地区更生保護女性会
- 〈1万円〉十和田地区更生保護女性会  
久慈 博昭 ・ 塩原 誓子  
黒瀧 昭一 ・ 森山 和雄

## (更)青森県更生保護協会 会員御芳名

- 〈平成27年2月1日～平成27年7月31日〉
- 【賛助会員】〈8万円〉株式会社 みちのく銀行  
青森県火災共済協同組合  
株式会社 青森銀行
- 〈5万円〉株式会社 アケア(八戸市)

## 平成27年 春の叙勲・褒章 おめでとうございます(敬称略)

### 叙勲【瑞宝双光章】

- 福士 良子(弘前・保護司) 更生保護功労
- 中村 政勝(八戸・保護司) 消防功労

### 叙勲【瑞宝単光章】

- 小野寺 幸治(青森・保護司) 消防功労

### 褒章【藍綬褒章】

- 安田 悠宏(鯉ヶ沢・保護司) 更生保護功績

## ○退任保護司 長い間ありがとうございました。

- (平成27年3月31日付け) 川村 一夫(青森)  
藤本 恒徳(五所川原) 安田 勝司(五所川原)  
鎌田 實(つがる) 奥本 昌子(むつ下北)
- (平成27年5月25日付け) 片山 薫(五所川原)
- (平成27年8月3日付け) 佐々木 晴彦(つがる)
- (平成27年9月1日付け) 當麻 京子(青森)  
中村 雪子(弘前) 吉田 洋子(弘前)  
館向 直三(八戸) 工藤 一夫(八戸)  
乗田 兼雄(南黒) 古川 明美(河南)  
外川 精輝(河南) 小山内 恵逸(五所川原)  
齋藤 美保子(鯉ヶ沢) 市村 堅二郎(上十三)  
村井 正昌(野辺地) 南川 定一(むつ下北)  
小友 まり子(むつ下北)

## ●敬弔

ここに生前の御功績を偲び、  
謹んで哀悼の意を表します。

- 穂積 倉二(八戸) 平成27年3月23日御逝去
- 佐藤 勝美(八戸) 平成27年6月2日御逝去
- 溝江 貞真(弘前) 平成27年6月24日御逝去

## ○配属保護区変更

- 東頭 成(青森から福島・相馬保護区へ)(平成27年3月31日付け)

## ○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

- (平成27年9月2日付け)
- 徳差 誠悦(青森) 田邊 孝美(青森)
- 田村 康子(弘前) 前田 武昭(弘前)
- 安彦 恵美子(弘前) 井澤 いね子(弘前)
- 丸岡 博(八戸) 長岡 孝博(八戸)
- 工藤 教雄(八戸) 大平 浩倫(南黒)
- 樋口 哲(河南) 福士 敬悦(五所川原)
- 越谷 悟(五所川原) 野呂 重正(つがる)
- 宮崎 茂(上十三) 東 静(上十三)
- 越膳 昌子(むつ下北) 福浦 栄子(むつ下北)